

論文審査の要旨

報告番号	㊦・乙 第 2763 号	氏名	肥田 典子
論文審査担当者	主査 小口 勝司 教授 副査 泉崎 雅彦 教授 副査 小風 暁 教授		
(論文審査の要旨)			
<p>本論文は、喘息患者において短期間の治療薬休薬が呼吸機能を低下させることを明らかにしたものである。健康成人 15 名，喘息患者 20 名を対象に休薬前後の 2 回の呼吸機能検査を比較検討した結果，健康成人では $FEV_{1.0}\%$，\dot{V}_{50}，\dot{V}_{25} で有意な増加を認めた一方で，喘息患者では休薬後に PEF が有意に低下した。中でも $ICS/LABA$ 吸入および内服薬を使用していた群で低下率が最大であった。しかしながた休薬により喘息発作が惹起されるなど，自覚症状の増悪は見られなかった。</p> <p>以上より，喘息患者では短期間であっても治療薬を休薬することによって，呼吸機能に影響を及ぼすことが明らかとなった。治療の中断により，自覚症状の悪化がなくても，潜在的な喘息増悪のリスクが懸念され，喘息コントロールを良好に維持するためには治療の継続が重要であることを明らかにした本論文は学術上価値があり，学位論文に値すると判断した。</p>			

(主査が記載、500 字以内)